



▲浜北会場には約3,000人（湖西会場には約1,500人）が集まり大盛況。



衆議院議員 平沼赳太先生



政治評論家 福岡政行先生



▶ 浜北会場では中畠清先生を、湖西会場では石毛宏典先生をゲストにお招きし、楽しいトークの一幕もありました

大盛況「信念を語る」時局講演会

平沼先生、福岡先生の講話に拍手喝采（

平成二十年三月十四日、十五日の二日にわたり、浜北グリーンアリーナ、湖西市市民会館の二会場で、講師に衆議院議員の平沼赳氏先生と政治評論家の福岡政行先生を迎えて、「信念を語る」時局講演会を開催しました。

二会場、延べ四五〇〇人の聴衆を前に、平沼先生は「ここ十年、日本の政治は停滞している。直面している財政問題などは今の政府では解決できない。今こそ強い決意、強い信念を持つ政治家が必要だ。政治家は国民に夢を与える、共に夢を目指すもの。今、私は無所属だが、無所属だからこ

そ党派に囚われず、本当に必要な政治家を育てて行きたい。その先鋒が城内君だ」と力強く語りました。

また、福岡政行先生は「今の自民党には人がいない。畠田首相には今の国難は任せられない。この状況では年内解散もありえる。城内君は会う度に成長している。前回は僅差で負けたが、次は必ず勝つてみんなで嬉し泣きしましょう」と激励されました。

それを受け城内みのるは「カイカク、カイカクと聞こえは良いが、国民負担は増える一方。政府与党が進めてきた、まやかしのカイカクに多くの国民

必
強
福
ラ
解
ノ
僅
ハ
カ
マ
氏
の不満が噴出している。市場原理優先の弱肉強食型社会から、人に優しい社会にするためには、日本の良さを見直し、日本の風土、日本の気質に合う社会制度を構築する必要がある。

何にいくら予算を付けたとか、ごく一部の人しか潤わない一過性の話ではなく、将来にわたって住み続けられる地方（近松）の在り方を論ずるとき。弱者に優しく地方に温かい社会であるためには、社会保障を第一に考え、農林水産業を推奨し、「環境技術立国を目指す必要がある」と熱く語ると、集まつた聴衆からは割れんばかりの拍手が沸き起きました。

A black and white photograph of a baseball player in a white uniform with blue lettering, wearing a blue cap with a 'K' logo, looking towards the right.

事を考ふますからやかでは友は去り孤立します。一つのことを「コツコツ」と積み重ね尽くし続けるところに「運」は向いてくると確信しています。

我々の代表城内実は正に本物人間です。そして後援会の皆様は縁によつて縁に生きる本物人間の集団です。わたしは心から素晴らしい皆様とめぐりあえた事に感激しています。「人生に多くの友がいる」と今、力強く語れることに幸福を感じます。

さて、選挙は何時になるかわかりません。このようなどきこそ今一日一日が最も大切です。まことに、つづいて二八



平成20年6月1日発行
編集・発行 城内みのる後援会
〒433-8112 浜松市北区初生町691-1
TEL <053> 430-5789
FAX <053> 430-5756
U R L <http://www.m-kiuchi.com>
E-mail info@m-kiuchi.com

城内みのる後援会の行うイベントは、ほとんどが手作り。今回の講演会も、会場の設営から備品の搬入、受付、誘導まで、延べ三〇〇人のボランティアのみなさんによる手作りでした。

特に、三月十四日（浜北会場）は土砂降りの大霖でしたが、カツバに長靴で駐

車場整理や車の誘導をしていただいた二〇人ほどのみなさんには本当に頭が下りました。

事故もなく、スマートに進行できたのも、ボランティアスタッフのみなさんのお陰です。

いつも本当にありがとうございます。

コラム

城内みのる後援会 会長

太田 誠



とりの「智力」「縁力」の積み重ねに勝るものはございません。私の信条は「負けない戦い」です。どうぞご健康に留意してください。益々のご精進宜しくお願ひ申し上げます。感謝

太田
誠



▲ 金指街道沿い（初生町714-1）に第二事務所を開設いたしました。城内みのるを応援するみなさんの交流の場、憩いの場に、お気軽に立ち寄り下さい。

支援者の輪、続々結集

各地で後援会組織
「城内会」が発足

「私の地区でも城内を応援する会を作りたい」「オレの町でも城内を応援する仲間がいる」そんな声が集まって、各地で城内みのるを支援する会が続々と誕生しています。ここでご紹介している会はごく一部。城内みのるを応援する熱いネットワークはどんどん広がっています。

あなたも一緒に城内みのるを応援しませんか。あなたの町や地域でも「城内を応援したい」という仲間がいらっしゃいましたら、城内みのる後援会事務所へお気軽にご相談ください。

▲ 3月12日、信念を語る講演会を前に、第二事務所でマスコミ記者会見を開きました。詰め掛けた報道陣を前に無所属での出馬を表明しました。



支 援 者 の 声

「女の一念」を「信念」に

「信念」好きです!!私はこの言葉が……。正直、真面目、実直に生きる、生きている、そんな人にとっても惹かれます。誠実さは信用、そして信頼へつながっていき、人柄、信条、信念を貫く人として、城内みのるさんは選挙初出馬の時からの大ファンで今まで応援してきました。昨年九月に可美地区に女性部を発足するという事で、お声がかかりました。「エッ、なんで私に……」の心境でしました。それでもがんばつて可美地区の女性の方々に参加を呼びかけています。

また、七区以外に在住の元同僚や、知人友人を紹介して下さる方がおられ、その熱意にこちらからも情報を提供して城内ファンを一人でも多く増やそうと努力しております。昔の言葉に女性の恋を「女の一念岩をも通す」と表現されたと言われますが、女性部として「女の一念」を「信念」と置き換えて沢山の仲間を増やしこれからもう一つ応援していきます。



浜松市南区若林町
大場しづゑさん

《城内みのるの遠州八策 その一》

今こそ大真面目に農業再生を!

日本の農業者の割合は国民全体の三%。つまり、三人の農家が百人の食糧を貯っていて、しかも、そのうち二人は六十五歳以上の高齢者。これでは食糧自給率が四割を切ってしまうのも仕方ありません。日本の国土は六割以上が山間地です。写真のような棚田は生産効率は悪いけれど、とても美味しいお米が採れます。家族と一緒に田植えや稲刈りをして実際に体験してみると、大変さと同時に尊さを感じます。



さらに強固にバツクアップ

～新しい後援会長に太田誠氏が就任～

昨年10月、新後援会長に駒澤大学野球部名誉監督の太田誠氏が就任しました。また、副会長にはNPO法人緊急ヘリ病院ネットワーク理事長の國松孝次氏、静岡県医師会会長の鈴木勝彦氏、前浜松市教育長の土屋勲氏、福祉団体C・W・D代表の浅田常夫氏に就任していただきました、さらに強固に城内みのるをバツクアップしてまいります。

副会長

浅田常夫 氏

副会長

土屋 勲 氏

副会長

鈴木勝彦 氏

副会長

國松孝次 氏

昨年10月、新後援会長に駒澤大学野球部名誉監督の太田誠氏が就任しました。また、副会長にはNPO法人緊急ヘリ病院ネットワーク理事長の國松孝次氏、静岡県医師会会長の鈴木勝彦氏、前浜松市教育長の土屋勲氏、福祉団体C・W・D代表の浅田常夫氏に就任していただきました、さらに強固に城内みのるをバツクアップしてまいります。